

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (釧路根室流域)

1 流域の特色(国有林 288千ha、民有林 270千ha)

本流域は、釧路・根室支庁管内の2市10町1村で構成され、北海道の東部に位置している。北部は阿寒及び知床山地の千島火山帯を境として網走東部流域に、西部は阿寒山系の稜線を境に十勝流域に接している。主な河川は、屈斜路湖、阿寒湖を水源とする釧路川、阿寒川が南流して太平洋に注ぎ、また、標津川、西別川、風連川が東流しオホーツク海に注いでいる。

地質は、火山性岩石が広く分布するが、釧路湿原から根室半島にかけては沖積世、釧路西部では第三紀、厚岸湾周辺では洪積紀となっている。土壌は褐色森林土が最も多く、次いで黒色土、ポドゾル土、泥炭地となっている。気候は、千島海流の影響を受けて冷涼で年平均気温は5℃、年間降水量は約1,090mmとなっている。

春から夏にかけては海霧に覆われることが多く、冬は厳しい寒気に見舞われオホーツク海域は流氷に閉ざされる。農業は、恵まれた草地基盤を生かして大規模な酪農が展開されている。水産業は、さんま漁、さけ定置網漁、こんぶ漁が盛んで、工業では、食料品製造業が主体となっている。

豊かで貴重な自然環境を有していることから、知床・阿寒・釧路湿原の3つの国立公園、知床世界自然遺産地域及びラムサール条約登録湿地等に指定されており、道内外をはじめ海外からも数多くの観光客が訪れる。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

(1) 国有林材の供給情報や安定的販売

流域の林産業は、製材・チップ・集成材・プレカット工場等が操業しており、農業・土木・教育分野等での木材利用も推進され、国有林の木材生産機能の発揮が期待されている。

このことから、地域林業事業体の計画的事業運営のための「国有林材の販売に係る年間・月々等の情報提供」及び国有林材の需要・販路の確保等を図り、事業体における安定的な事業量の確保を通じて、木材の生産・流通・加工の担い手の育成等に資する「安定供給システム販売」等に取り組む必要がある。

(2) 国有林の森林及び森林機能の充実等

水源かん養機能や山地災害防止機能、地域の特徴である防風・防霧機能の維持増進を図るため、立地条件に応じて育成複層林施業を計画的に推進するほか、更新時に林床が裸地化する面積及び期間を縮小するため「1箇所当たりの伐採面積の縮小」、「伐採箇所の分散」及び「伐採林齢の長期化」を図る必要がある。

また、林地の安定化を考慮した適切な保育や間伐、複層状態の森林への誘導の際

には、立地条件に応じ、国民のニーズ等を踏まえ、広葉樹の活用による針広混交林化を図る必要がある。

なお、間伐等の推進に当たり、森林の整備や木材生産の効率化に必要な路網と林業機械を組み合わせた低コスト高効率作業システムの普及啓発を図る必要がある。

(3) 上下流の連携強化のための下流住民に対する情報提供、林業体験活動等

森林環境の保全・整備を一層推進していくためには、地域一体となった取組が必要であり、これまで締結されてきた森林整備協定等の継続・拡大を図りつつ、地元自治体や森林・林業関係事業者等との連携を強化していく必要がある。

また、森林と人との共生や国土の保全及び木材供給等の森林の持つ公益的機能の普及啓発等のため、森林浴ツアーや森林公開講座等の活動を通して森林・林業への正しい理解の醸成を図る必要がある。

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

釧路根室流域における国有林に対するニーズや要望を把握するため、公共機関（支庁、市町村、教育委員会、小中学校）及び林業関係者等に文書回答方式等により、平成22年1月から2月にかけて意見聴取したところ、ニーズ・要望等が以下のとおり60件（複数回答）寄せられた。

なお、要望等は内容により、計画的な木材供給の推進、森林施業の効率化・共通化等の取組、林業技術の開発・普及啓発、林業事業者の育成、安全・安心への取組、生物多様性保全に配慮した取組の推進、上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等に区分した。

計画的な木材供給の推進

- ・地元林業事業者（木材業者含む）育成のため、計画的な木材の供給
- ・供給量の安定化と増量に向けた取組等
- ・地材地消による環境保全や地元消費の拡大 外

森林施業の効率化・共通化等の取組

- ・効率的な森林整備のため、高性能林業機械を活用した施業体系の構築
- ・民国連携による路網の共同整備や相互活用
- ・林地残材の集積化による地拵えの軽減とバイオマス資源の有効活用に向けたモデル方式の構築
- ・民国連携による河畔林の造成と整備及び河川沿いの人工林の一部を河畔林として整備する手法の検討・整理 外

林業技術の開発・普及啓発、林業事業者の育成

- ・森林整備に係る地元事業者の活用
- ・地域の活性化と雇用量確保のための事業量の安定的な確保と供給の拡大 外

安全・安心への取組

- ・自治体のハザードマップ作成・調整への協力
- ・地域住民等を対象とした防災情報等の発信への協力 外

生物多様性保全に配慮した取組の推進

- ・エゾシカの有害駆除（個体数調整）等への協力
- ・既設の治山工事箇所における魚類資源の持続可能な環境づくりへの配慮
- ・野生動植物との共生に配慮した河川・森林環境づくりへの取組 外

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

- ・植樹活動等への協力
- ・地域に密着した森林環境教育等の実施 外

4 国有林野事業が率先して行う取組

計画的な木材供給の推進

ア) 目標

- ・国有林材の安定供給の推進
- ・未利用材利用等木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組

イ) 連携・協力機関

関係事業者、森林・林業活性化協議会等

ウ) 取組方向

- ・間伐材の安定的供給及び各団体等が計画する研修会等への協力
- ・木質バイオマス資源の需要拡大に応じた林地残材等の活用に向けた取組

森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

- ・地元自治体等との協定等に基づく多様で健全な森林整備の推進
- ・森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の推進

イ) 連携・協力機関

地元自治体及び関係事業者、森林・林業活性化協議会等

ウ) 取組方向

- ・森林整備協定の継続及び新たな森林整備協定の締結等による森林共同施業団地設定の取組
- ・低コスト高効率作業システムの確立に向けた民国連携の現地検討会等の開催
- ・低コストで崩れにくい作業道などを主体とした路網整備の取組

林業技術の開発・普及啓発、林業事業者の育成

ア) 目標

- ・林業経営の安定と計画的運営の推進
- ・林業技術の普及・啓発の推進

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化協議会等

ウ) 取組方向

- ・立木販売・製品販売に係わる年度当初の年間販売計画及び各月の販売実績の情報提供等
- ・施業モデル林設定の取組

安全・安心への取組

ア) 目標

- ・地域住民への防災情報等の発信

イ) 連携・協力機関

地元関係行政機関等

ウ) 取組方向

- ・地域の防災意識を高めるための地域防災講演会や図上訓練への協力、自治体のハザードマップ調整への協力等

生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

- ・エゾシカ等鳥獣被害対策等の実施と野生動植物に配慮した河川・森林環境づくり

イ) 連携・協力機関

地元自治体等

ウ) 取組方向

- ・地元自治体等が実施する鳥獣被害対策（個体数調整）等への協力、エゾシカ食害等が森林に与える影響調査等の実施
- ・希少猛禽類の研究者などと積極的に連携し、特定生物生息地保護林における人工林整備の試行や生息環境の維持に向け取り組むべき方策の検討を進める

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

- ・森林環境教育の推進、自然環境の維持・保全、ボランティアによる体験活動等

イ) 連携・協力機関

地元自治体等

ウ) 取組方向

- ・植樹活動等の推進及び森林環境教育等への支援、NPO法人等による自然環境の維持・保全活動への支援、ボランティアによる体験活動へのフィールド提供

流域名・流域番号	釧路根室流域（010）	担当部署	根釧西部森林管理署 根釧東部森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		